

環境に優しい新しい溶融機を導入

弊社三凌愛川リサイクルセンター第1工場で使用していた発泡スチロールの溶融機を、今年6月に新しい溶融機に取り替えました。これまでの溶融機は、灯油と電気を併用して発泡スチロールを溶かしていましたが、溶融温度が高いとスチレンガスが発生しますが、灯油を使用することでガスを燃焼させて無害化していましたが、その結果、燃焼の過程でCO2が排出され環境に負荷をかけていました。この度、新たに導入した溶融機は電気のみを使用して発泡スチロールを溶かします。溶融温度がこれまでの機械より低いため、スチレンガスの発生も少なく以前のように燃焼させる必要もありません。エネルギーを節約でき環境に優しい処理が可能になりました。

溶かした発泡スチロールは、ハンガーなどのプラスチック製品の原料としてリサイクルされています。



廢発泡スチロール



今回新たに導入した溶融機

発泡スチロールを溶かしてできた
プラスチックの原料



最終的には
プラスチック製品
にリサイクル



ISO14001、EA21審査無事終了

ISO14001定期審査では、かながわりサイクル認定製品として「サンリョウ有機」肥料のPR活動等の努力が評価されてストロングポイント（特筆すべき点）を得ることができました。また、新たに導入した省エネ型の発泡スチロール溶融機も環境負荷を大きく削減できることで良い評価をいただき、無事審査を終えることができました。

また、エコアクション21（EA21）の更新審査では、各部署の真剣に取り組んできた成果を評価され、大きな指摘を受けることもなく無事に審査を終了し、認証の更新をすることができました。



「安全委員会」開催

第90回「安全委員会」が開催されました。無事故・無災害に向けた事故防止対策を協議し、年間と月間の活動目標を決定しました。安全運転と健康をテーマにこの一年全社を挙げて取り組んでいきます



アースデイ東京2013に参加

東京都産業廃棄物協会の一員として、ごみの分別とリサイクルの大切さを伝えるPR活動に参加をしました。またNPOグリーンパード主催の廃棄物の収集と清掃活動にも参加しました。



シリーズ サンリョウの仕事 ~ 貯水槽清掃 ~

今年も暑い夏を迎えました。例年この時期は水道の使用量が増えますが、水道水の衛生管理は万全でしょうか。飲料水は私達の生活に欠かせないものです。貯水槽は手をいれずに放置しておくと、カビの発生、苔の繁殖あるいは害虫が侵入したりすることで、細菌が発生して不衛生な槽内環境が水道水を汚染する原因となります。また冬季に比べて夏期は、気温の上昇とともに槽内の塩素濃度も自然に低くなります。貯水槽の清掃をこまめに行い、塩素濃度を薄くさせないように維持することが大切です。

弊社では、資格をもつ専門のスタッフが清掃消毒を行い、貯水槽設備の点検、残留塩素の測定、水質検査も併せて実施します。この機会に、貯水槽の清掃消毒をお勧めいたします。

お問合せ先 営業部 古館(ルヲ)まで TEL 042-726-2647

